

## 情報公開文書

研究の名称	排便痛などの月経随伴症状を中心に、月経痛・子宮内膜症外来 2 年間を振り返る。
研究機関の名称	富山県立中央病院
研究責任者	産婦人科 医長 草開 友理
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2021 年 1 月 4 日から 2023 年 3 月 31 日までに当院月経痛・子宮内膜症外来を受診した患者さんを対象とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 子宮内膜症は月経痛を来す良性疾患ですが、適切な治療が行われない場合慢性疼痛や難治性不妊症につながりうる疾患です。10-20 歳の初経が始まって間もない時期にすでに発症していると推測されています。月経痛に性交痛や排便痛を伴う場合は子宮内膜症のリスクが高いと過去に報告されており、より早期の治療介入が望ましいです。また頻尿などの排尿トラブルを呈する子宮内膜症患者にホルモン療法を行うと改善したという経験も散見されます。排便痛・排尿トラブルと子宮内膜症との関係を積み重ねた症例を通して検討します。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 富山県立中央病院で診療を受けた上記の対象患者さんの診療録情報を研究に用います。個人情報が漏洩しないよう、氏名やカルテ番号などは研究に用いません。本研究に参加する費用には、病院における診療費用以外に新たな費用負担はありません。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2023 年 12 月末までにデータの解析を行う予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>排便痛の有無・間質性膀胱炎症状スコア・問題スコアを含めた問診票の記載内容と診察所見を後ろ向きに調査します。排便痛を伴う月経困難症患者の年齢層・子宮内膜症の有無、間質性膀胱炎スコアが陽性になった月経困難症患者の年齢層・子宮内膜症の有無を検討します。</p> <p>他機関への試料・情報の提供はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者名	<p>情報を利用する期間： 富山県立中央病院</p> <p>施設責任者：産婦人科 医長 草開 友理</p>
試料・情報の管理責任者	富山県立中央病院 産婦人科 医長 草開 友理
研究対象者・親族など関係者からの相談の対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用)を希望する場合の申し出および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 : 076-424-1531 (代表)</p> <p>担当者: 産婦人科 医長 草開 友理</p>